



5月のライラック祭りが終わって、いよいよ6月の初夏をおかえました。
しばらくの間は 気持ちが良いくて爽やかな気候が続きます。

幼稚園生活も、毎日が快適に送ることが出来ます。
園庭もバスの中も、色が爽やかでカラフルになって楽しさが溢れて
あります。しばらくはこの雰囲気をみんなで楽しみたいです。

■すでに園外での活動がはじまっております。
外は園舎の中違って壁と天井と無く環境が違
います。

そんな環境の中で、こどもたちの安全を図るには、こども
たちが教師の指示に的確に反応しなければなりません。

「話しが聞けて、正しく反応できる」ことが
条件です。

やがて7月お盆さんたちも、園外での活動
がはじまりますよ。

さまざまな経験や活動を通して、
身も心も育っていきます。

「話しが聞ける!!」ことは基本中の基本です!
自分たちの手たち、皆がその力を毎日に
身に付けて行き、その成果を運動会や
生活発表会で観せてくれますよ。

■昨年度はコロナ対策として、ハモニカの活動を
自粛しましたが、今年度は4月より活動をしています。
開園以来からの活動で5年目になります。
全国的に調べても、実地している幼稚園は
ありません。

年中組での鍵盤ハモニカは音を
目で探すことが出来ましたが、年長組の
ハモニカは、口にあてて目で探すことは
できません。

そんな難しい楽器に挑戦しています。
吹音と吸音があります。

口を数ミリ移動しただけで音の違いがあります。

子どもたちは、先生の話をしっかり聞けるから
難しい課題に挑戦できるので、
小さなコンピュータを駆使して、ドレミファソラド
の片道から折り返しの往復が吹けるようにな
ってきましょ。楽しみです♡”



(心の育ちシーズ) ママ! NGワードは出さないで!! 内田 伸子 安心子育てより

子どもはある程度上手に言葉を使えるようになってくると、身近な大人(特にママ)に色々な質問を
投げかけてくるようになります。目についたもの、気になったなどを聞いてあげます。だいたい2歳過ぎから...

なかには、大人には考えがたい新鮮な視点や、ハッとするような問いかけがあります。「どうしてお空から
水が落ちてくるの?」「あれは雲から雨が降っているのよ」と、すぐに答えられる質問ならよいのですが、
幼稚園児くらいになると「赤ちゃんはどこからくるの?」「どこで大人になるの?」などと、すぐに
答えられない質問も多くなります。

質問をくり返されると、ママと疲れてしまって、ついに返事をすることあるでしょう。すぐに返事を
しないと子どもの興味は別のものに移って反応が返ってこなかったり...。
だからスマホをすぐに調べで答えるママが増えているようです。

子どもが質問した時にすぐに答を出す、子ども自身が考える余地を残さずあげましょ。
子どもの「なぜ?」「どうして?」という問いは、子どもに考える機会を与える良いチャンスなのです。
4歳頃からは増える「なぜ?」「どうして?」の質問には、「どうしてかな!」「なぜなんだろうね」と
返してあげましょ。

私の娘が4歳の時「お風呂に入るとどうして手が軽くなるの?」と聞いてきてびっくりしたことがあり
ました。「面白いこと気がついたね、なぜだろうね」と返したところ、娘は一生懸命考えている様子。
「プールは冷たくて体が沈んじゃうけど、お風呂はあったかから下から押して居るんだいの」と娘。
「そうか知らないね、良く気がついたね」と褒めてあげました。

NGワードは、「大きくなったらわかるから!」「うるさいね!今忙しいから...黙ってて!」と雷を落とす
言葉です。
あまりにたくさん質問に、うんざりするところあるかもしれませんが、出来るだけ根気強く付き合
ってあげてください。
お母さんと子どもの視線にどって、一緒に考えたり、答を探る楽しさを再発見してください。